

洋書輸入協会会報

VOL. 22

NO. 10

(通巻258号) 1988年10月

理事会報告

9月13日(火)

(一) 七月分および八月分収支計算・予算対比表

9月6日(火)に開催された総務委員会での検討にもとづく松井幸雄氏(丸善)の報告を承認した。

(二) 関西支部事務局

14年間勤務された後藤加代さんが8月31日退職し、後任に吉良山葉子さんが採用された旨事務局長から報告された。勤続期間が長いので、退職金について論議され、関西支部に問い合わせた。

(三) 第四回日米図書館会議

事後処理について報告され、日米双方の出席者名簿、日本代表団の日程、議事日程が配布された。

(四) 委員会の再編

総務委員会における二回の討論にもとづく中間報告が行われた。現在の総務、会報、ダイレクトリー、文化厚生の四委員会はそのまま存続し、企画渉外委員会および新たにおく経営研究委員会の下に部会をおくという案で、長時間にわたって意見を交換した結果、ひきつづき討論を継続することとなった。

(五) 洋書まつり

委員会にいっさいを委せることとなった。

(六) その他。

文化厚生委員会だより

フォーティ・ラブ(テニス同好会)報告
夏の集中練習会(8月20日)

「5年前より初心者でも気軽に参加していただけるよう日帰りの例会を企画してまいりました。……初心者の方には特にコーチが親切に指導いたします。なお今回もご家族の方1名までの参加をみとめ……。8月20日(土)9:30 AM 現地集合……小雨決行! 雨天の場合の問合せ……(マイブック、村上宅)」の案内が8月8日に文化厚生委員会により各会員にファックスされ、30余名より申込みが寄せられました。勿論当日は快晴、成城グリーンプラザのハードコート2面を借り切ったの集中練習会では、初心者、ベテランの区別なく、皆ボールを追って、打っては走り、走っては打ち、相手のミスを誘わんと秘術(?)を尽し、時には空振りに天を仰ぎ、珍プレーにギャラリーの笑いの的になりながら、全員一日楽しく無事故無違反の健康な汗を流しました。

今年は厚ラケのブームの年? デカラケを追い越す? 次のラケットはどんなことになるんだろう? と、ラケット一つをとってみても、昔のウッドとは打って変って、カーボン、金属等を組合せ、科学的にバランス、反撥力、空気抵抗、重量等の要素を理想的に実現したもの

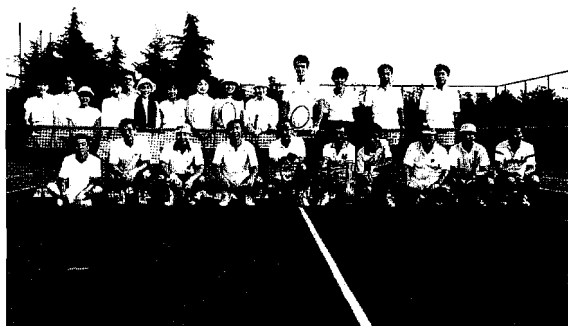
理事会報告……………	1	洋書輸入協会史(35)……………	3	計報……………	6
文化厚生委員会だより		Book Review No.123 ……	5	お知らせ……………	7
フォーティ・ラブ(テニス同好会)報告 ……	1	海外ニュース……………	6	総代理店ご案内……………	7
会員紹介……………	2	お知らせ……………	6	広告……………	8

になりました。それでも自己の握力、腕力、筋力、脚力、体型、打ち方の癖等にピッタリしたラケットを探して歩くのが昂じて、収集マニアのような人も現れてくるわけです。そのうちに、マイクロコンピュータやセンサー付きのマジック・ラケットが登場してきても、あながち驚くにあたらないような気さえる昨今です。

さて、練習試合も5時をもって終了、シャワーで汗を流し、サッパリしたところで飲み放題のビア・パーティー(3,000円)。鉄板上の肉の悲鳴と突然の雷雨のデュエット。それもパーティー終了時には上り楽しい打ち上げとなりました。

次は秋の合宿でお会いしましょう。まだ参加したこと

のない仲間も誘ってまた参加されることを幹事一同、筆者も含め、お待ちしております。(R. A. 記)



会員紹介

パーガモン・プレス・ジャパン

〒160 東京都新宿区西新宿1-7-1

松岡セントラルビル5F

TEL. 03-342-7535 (代)

FAX. 03-342-7028

最近ダイヤモンド社から出版された『マックスウェル』——情報覇権に賭ける奇蹟の人生(J.ヘインズ著・田中至訳)は現MCC会長ロバート・マックスウェルが、貧しいユダヤ系農民の子として生まれ、第二次世界大戦中は反ナチ運動に加わり、戦後英国陸軍に入隊して戦功章を授与される間の青年時代、そしてパーガモン・プレスという小出版社を発足させ、今日の一大情報企業MCCを築きあげるまでの半世紀を書き綴っている。

Pergamon Pressは、本社を英国のオックスフォードに置きMCCグループの中であって、科学技術・人文社会の全分野にわたって、400点以上の雑誌と年間

2百数十点の新刊書を出版しているが、パーガモン・プレス・ジャパンは、その日本連絡事務所である。

代表の加藤勉氏以下7名のスタッフは、Pergamon Pressの出版物の日本におけるマーケティングの他、日本で開催される国際会議のプロシーディングスをPergamon本社から出版するための窓口として出版の補助的業務も行っている。将来は、日本の学協会のために、日本で出版することも計画しているとのことである。また、情報媒体の多様化に伴って、マイクロフォーム、電子出版、CD-ROM、データベース等々、ニューメディアによる情報サービスの分野にも積極的に取り組んでいる。

洋書輸入協会史 (35)

洋書輸入協会顧問 相 良 廣 明

42 外国書籍及び定期刊行物の輸入承認に対する担保率引下げの運動

昭和28年('53)2月のA・A(為替割当ての自動承認制)停止の際に、ドル・ポンド地域の担保率が5%に上げられ、更に昭和29年('54)1月のA・A再停止に際してはこれが10%に、2月に入っては実に20%に上げられ、洋書輸入業者の負担を著しく増大したことは既に述べた(JBIA会報 S63, 9月号、Vol.22 No.6、協会史(34)の40.4所載、「輸入承認に対する担保率引上げ」の項参照)。

() 国際収支の悪化に伴うこの政府措置に対し、金融引締めと景気後退にあえぐ業界は、一日も早く担保率を引下げて貰おうと、対策を練り陳情を重ねることとなる。しかしその引き下げが実現するのは実に翌昭和30年('55)4月となるのである。以下に一年有余に及ぶ累時の陳情運動とその苦心、努力の程の跡づけをしてみたい。

42.1 陳情書の提出(第一回)

昭和29年('54)2月19日、ドル地域A・A輸入承認停止に対する救済請願のため、理事全員にて通産省に出向き、種種懇請したが、この時に担保率の引下げについて下記の陳情書(第一回)を提出している。

記

陳 情 書

書籍及び定期刊行物の輸入承認に対する担保金が、昭和29年1月28日から10%に訂正され、更に昭和29年2月8日から20%に改正されましたのは、輸入資金の関係上止むを得ざる御処置とは考えますが、何分輸入される書籍及び定期刊行物の大部分はすべての基礎資料であって、学校、官衙(かんが、官庁のこと)を始め諸産業に必須不可欠の文献で、全商品には定価が明示されており、従って投機の対象となるべきものではなく、また利潤も僅少のものですから、担保金20%は当業者としては負担に堪えないものでありますので、特別の御詮議を以て担保金%を従来通り、又は可及的低位に御改訂下さるよう、お執り成し方陳情致します。

昭和29年2月20日 海外出版物輸入同業会
通産産業省通商局長 牛場信彦殿

この陳情文は、全文に一カ所の句点、切れ目もなく読んで読み辛い。また金融引締めのさなかに、輸入承認を受ける度に現金で承認額の20%を積み立てなければならない業者の苦衷を訴えかける迫力に乏しい。更にいささか説明不足でもある。

この陳情文と同文のものは、3月10日付で大蔵省為替局長 東条猛猪宛に提出され、また同省の総務課長にも提出されている。

42.2 担保率が更に引上げられて25%へ

このような努力にも拘らず、担保率引下げ運動は効を奏していない。即ち4月5日付の通商広報に発表された「4～9月外貨予算による第6回輸入公表(自動承認制)」によれば、書籍総額約200万\$の割当が行われた上で、担保率の大部分が25%に引き上げられており、4月6日より適用となっていた。

これに対し4月6日付の海輸第68号では「かねて担保比率について関係当局へ引下げの陳情を致しましたが、遺憾ながら大部分25%と発表されましたので、今後別途に引下げ運動を考慮したいと思います。」と会員に知らせている。

42.3 担保率引下げ委員会の結成と運動方法の論議

担保率25%という高率に動揺した業界は、対策建て直しのため、「担保率引下げ委員会」を結成した。そして5月28日の同業会定時総会の席上において引下げ運動の方法論を論議し、引下げ実現の目標を9月に設定している。

これと共に総会に出席を願った通産省の村山、鈴木両事務官のアドバイスにより、陳情書を作り直すこととしている。そしてその作製作業と、通産省との打ち合わせを進め、成案を得て7月26日に同業会の懇談会を開き、陳情書の文案と運動方法とについて論議し会員の賛同を得た。

これに基づく行動は早速に起されたが、その模様は7月31日付海輸第75号に次のように報告されている。

記

外国書籍及び定期刊行物の輸入承認に対す

る担保率引下げに関する請願の件

かねて御相談申し上げておりました首題の件、第一階段として昨30日理事一同にて通産省通商局村山輸入課長を訪問、別紙の通産大臣宛の請願書を提出、同時に同課の担当官鈴木事務官、及び政策課にそれぞれ同写しを手交し、併せて請願理由を詳細に説明致しました。

続いて今週中に同省通商局長、次長及び大蔵省資金課長を歴訪、請願する予定でありますので、各位においても本目的達成の爲の有力な御手懸りがあれば、精精御了解を得る機会を作られて御協力を願うよう御尽力を願います。

なお、通産省においては、本問題について近く省内外関係担当官の会合が開催され、当会理事と懇談される模様であります。昨日の陳情の際に輸入品中にスタイル・ブック等の不要不急品がある旨多少問題となりました。
(以下略)

以下略の部分は、この懇談会のときのための理事会側の資料として、不要不急品のものの輸入の比率を、各社についてアンケートして貰い、調べておきたいとしている。

42.4 陳情書（第2回）の提出

前項の中に、別紙の通産大臣宛の請願書を提出したとあるが、今回作製提出されたものは、第1回目の時と異なり、文章が充分練り直され、時には縷縷（るる）と事情を説明し、時には綿綿と実情を訴え、更には大上段に振りかぶって業者の論理を展開するなど、苦心のさまが随所に出ている。長くなるが全文を次に掲載して記録にとどめることとしたい。

記

昭和29年 7 月 日

外国書籍及び定期刊行物の輸入承認に対する
担保率引下げに関する請願書

海外出版物輸入同業会

理事長 司 忠

通商産業大臣 愛知揆一般

請願事項

外国書籍及び定期刊行物の輸入承認に対する担保率は、昭和29年4月から25%に引上げられて現在に及んでおり

ますが、これを昭和29年1月以前の担保率即ち1ない至5%程度に改訂されます様左記事情御斟酌(しんしゃく)の上格別の御取計いを賜りたく請願致します。

理 由

一、外国書籍及び定期刊行物の輸入は、復興途上の日本におきまして一日も忽諸(こっしょ。なおざりにすること)に附することが出来ない性質のものでありまして、原子力の研究その他欧米諸国において日進月歩の飛躍的研究が各方面で伝えられております今日、それらの基礎資料と申すべき学術書籍の獲得の重要性は、改めて申すまでもないと存じます。

二、しかもこれらの外国書籍及び定期刊行物を必要とする向は、主として大学、研究所、図書館、各種企業又は団体その他特殊研究家でありまして、その需要量の全体は過去の実績に鑑み(かんがみ)ましても、これに必要な外貨の面では自ら一定の限度があると申して差支えありません。

三、外国書籍及び定期刊行物には御承知のように定価が附されており、これらを取扱う業者の販売手数料も概して薄利で、且つ続続新版新刊が刊行せられておりますから、担保率引下げの結果投機的思惑輸入を誘致する如き恐れは、他の商品と異なり一切ありません。

四、然るに外国書籍及び定期刊行物輸入業者の経営状態を顧みますと、元来その主たる得意先は官庁、大学、研究所等であります関係上、御予算並びに支払手続の面で相当日子を要するのが通例でありまして、業者の資金回収は平素においても窮屈であり、それが担保率引上げの結果、業者の負担は一層過重となっておる次第であります。

五、加うるに近時デフレ政策による金融引締めは、外国書籍取扱いの上にも波及致しまして、自然書籍代の海外送金の円滑を欠き、対外信用にも重大なる影響を来しまして、緊急重要な書籍定期刊行物の輸入に支障を生じつつある現状であります。

六、以上の結果、外国書籍取扱業者として深刻なる経営難に迫込まれておりますばかりでなく、ひいては海外先

進国の学問技術の研究資料たる書籍類の輸入に一大支障を来しつつありますことは、独り業者としての文化的使命の維持が危ぶまれるのみでなく、我国学問技術の研究達成上真に憂慮すべき事柄であろうと存じます。

上述の理由によりまして、外国書籍及び定期刊行物取扱業界の現状を御諒察下さいまして、その及ばすところの国家的、文化的意義の重大なる点を特に御勘考相成りまして、この際相成るべく早急に担保率を昭和29年1月以前の率、即ち1ない至5%程度に引下げられます様、格別の御処置の程業界を代表しまして衷心から切に懇願

申し上げます。

(以上)

この陳情書は、理事一同で前述のように7月30日に通産省輸入課へ提出し担当官に説明したのを皮切りに、8月6日には大蔵省資金課へ提出し説明、その足で通産省の関係局、課を歴訪している。そして8月10日に通産省の担当官を訪問し懇談、更に8月23日には理事会を開いて今後の運動のあり方を検討、27日、9月4日、7日、9日、11日、16日と矢継ぎ早に官庁を訪問して陳情を繰り返している。

(続く)

Book Review No.123

「ワープロからDTPへ」

柚口 篤 著

出版研究センター 発行

1988年6月 ¥1,500-

我々洋書の世界にも、すでにBooks in Print, British Books in Print、辞典のOEDなどのCD-ROMが現実には活用され、German Books in PrintのCD-ROMも今秋中には出るという。国内でもすでに、書誌情報、各種辞(事)典類、六法全書などのCD-ROMが発表され、一部はかなりの活用もみている。

この様に、すでに我々の周辺で活動しているCD-ROMも含めて、CDI, DTPなど、いわゆる電子出版の動向が今注目されている。関係の書籍もずい分増え、ゆうに書店の一コーナーを作る程であるが、その中から一つ取上げたのが「ワープロからDTP」へである。

本書は第一回の電子出版システム展で、住友金属工業が発表したシステムSMI/EDIANの開発に関った二氏(昆野、豊田)と著者の三人が、SMI/ADIANを題材としながら、一商品の特性にこだわる事なく、ひろくこれからの電子出版、とりわけ電子編集システムの進むべき方向を、鼎談の形で、まとめたものである。

第一章 電子編集システムとは何か。

第二章 日本語電算処理の系譜。

第三章 ワープロからDTPへ。

第四章 開発コーディネイターの意味と役割。

第一章は著者の考える電子編集システムの概観で、第二より第四章が鼎談。鼎談の中には、各所に専門用語が出て来て、この方面に弱いものには、このままだと甚だ困るが、そこを配慮して、頭注で主な用語の解説をつけ理解の助けとしている。例えば、

「レポートジェネレーター」→技術レポートを作成するための専用ワードプロセッサ。

「ソフトハウス」→システム設計やソフトウェアの開発を専門に行っている企業。

著者の柚口篤(ゆずぐちあつし)氏は㈱ユズ編集工房代表で、日本電子出版協会の幹事。本書の他の著書に、

「コンピュータを持った編集者」(1986)

「編集プロダクションの将来展望」(共著、1987)

「電子編集ウォッチング」(1987)

があり、本書と同時に参考にとされる。いずれも「出版研究センター」発行。

(SSD S. N.)

「英国書の価格下がる」

「ザ・ブックセラー」誌が発表した統計によれば、1988年1月～6月に出版された本の平均単価は£16.86で、1987年7月～12月の£17.31より2.6%値下りした。また、これは1986年後半の数字より1.6%低く、価格はほぼ1986年の水準に戻ったと云える。

1987年後半期と比較すると、新刊書は£17.88から£17.59へと下り、重版書も£15.39から£14.75へと下っている。しかし、クロス装小説は£9.75から£10.15へと逆に上っている。

(The Bookseller、8月26日号より)

「ドイツ輸入業者の抵抗」

アメリカの出版社の多くが最近では、輸出の際には国内販売価格より10%ないし30%も高い輸出価格を適用するようになったが、この二重価格制を利用してアメリカのいわゆるジョバーたちが洋の東西を問わず勢力を伸ばしてきた。これに対抗するため、西ドイツの理工医学書の輸入業者約50社が結集して、昨年10月に科学出版物輸入業者協会を設立し、アメリカの出版社に二重価格制を廃止するよう働きかけてきた。

この結果、McGraw-Hill社は今年の1月から協会のメンバーに対しては米国内価格と同一価格を適用するようになったし、Academic Pressは、上乗せ率を10%に引下げた。また、Holt Saunders, Prentice-Hall, IBDなどは、換算方式や価格設定方法を改善しつつある。

しかし、依然として二重価格制を変更しようとしないう出版社が多いので、輸入業者協会はアメリカ国内に仕入れと卸売りができる法人を設立することを検討しはじめた。去る九月に協会の会長である、ハンブルクのレーマン医学書店のマンフレッド・ハーン氏が渡米し、その可能性をさぐり、具体的な提案を行うことになった。

(The Bookseller、8月26日号他より)

—— 憐紀伊國屋書店提供 ——

●マグローヒルブック株式会社は、このたび米国本社
の組織変更にともない、社名を「マグローヒル出版
株式会社」(McGraw-Hill Publishing Co. Japan
Ltd.)と改称した。

●上記マグローヒル出版株式会社の代表取締役社長に
崎山克彦氏が就任した。

●株式会社栗田書店の店舗・事務所は下記の新住所に
移転した。

〒543 大阪市天王寺区石ヶ辻町3番3号

TEL. (06)779-6664/FAX. (06)779-6322

●株式会社友隣社は従来取扱ってきた下記各社の代理
店業務を9月30日以降停止することになった。

（株）東京大学出版会（10月1日よりの新代理店チャー
ルズ・イー・タトル商会）

（株）学会出版センター（新代理店は設置しない）

訃 報

アカデミア・ミュージック株式会社 会長 平
岩林氏は9月10日心不全のため逝去された。享年
84歳。通夜・告別式は、9月11・12日南荻窪の願
泉寺において営まれ協会員多数が列席した。ここ
に謹んで哀悼の意を表します。

訃 報

株式会社原書店 前代表取締役 原 廣氏は9
月25日肺炎のため逝去された。享年88歳。通夜・
告別式は9月26・27日本郷の御自宅において営ま
れ協会員多数が列席した。ここに謹んで哀悼の意
を表します。

お知らせ

下記Review copiesが出版社から洋書輸入協会へ送られて来ましたのでお知らせします。詳細につきお知りになりたい方は、協会事務局へお問合せください。

The Write Age (ISSN 0892-9955, Semi-Annual, \$15/Yr)

Regie's Love--A Daughter of Former Slaves Recalls
(ISBN 0-9618212-1-3, LCC 87-061795 Softcover 1987,
illustrated \$7.95 plus shipping) by Regie Heard and
Bonnie Langenhahn

Publisher: McCormick & Schilling

Box 722, Menomonee Falls,

WI 53051 U.S.A.

総代理店ご案内

丸善株

☎(03)272-7211

Munksgaard International Publishers Ltd. (Denmark)

.....All periodicals

American Ceramic Society (USA)

.....All books & periodicals

CNS: Clinical Neuroscience Publishers (GBR)

Aviation Medicine Quarterly

Behavioural Neurology

Behavioural Pharmacology

International Clinical Psychopharmacology

洋書センター・外国雑誌センター 事務室移転と電話番号変更のお知らせ

昭和63年10月

丸善株式会社

弊社書籍雑誌事業部・商品本部・洋書センター及び外国雑誌センターはこのたび第四丸善ビルへ移転いたしました。つきましては移転に伴い、電話番号が下記の通り変更、併せてダイヤルイン方式となりましたので、ここにご案内申し上げます。

記

【新住所】〒103 東京都中央区日本橋3-13-6 第四丸善ビル

なお、郵便物は従来通り『〒103 東京都中央区日本橋2-3-10』へお送り願います。

【電話番号】

書籍雑誌事業部長	(03)275-8595	仕入課	(03)275-8585	予約課	(03)275-8592
	(03)275-8581	"(内地仕入)	(03)275-8586	卸課	(03)275-8593
洋書センター長	(03)275-8581	外国雑誌センター長	(03)275-8595	業務課	(03)275-8594
企画選書課	(03)275-8582	仕入第一課	(03)275-8591		
商品情報管理課	(03)275-8584	販促課	(03)275-8591		
"(調査)	(03)275-8583	情報開発課	(03)275-8595		

【ファクシミリ】

洋書センター	企画選書課	外国雑誌センター	(03)278-1937
商品情報管理課(調査)	(03)274-3236	商品情報管理課	(03)274-3238
仕入課(内地仕入)	仕入課		

なお、洋書センター古書課、洋書卸グループの住所および電話番号は従来通りですが、古書課ファクシミリ番号が『278-9998』に変更となります。

以上

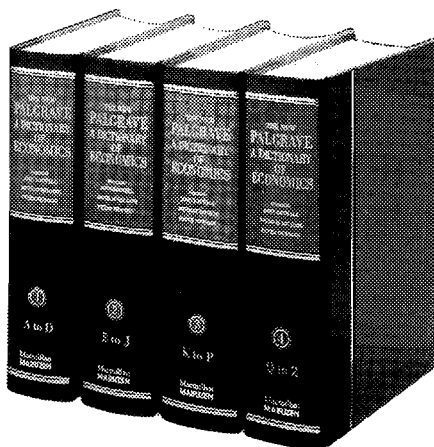
丸善創業120周年記念／英国マクミラン社・丸善共同企画出版
世界の最新経済学の学説・理論・諸問題をオリジナルで集大成!!

ザ・ニュー・パルグレイヴ経済学大辞典

THE NEW PALGRAVE A DICTIONARY OF ECONOMICS

Edited by
Murray Milgate, Harvard University
John Eatwell, Trinity College, Cambridge
Peter Newman, Johns Hopkins University

4 Volumes



3,500 p. 700 Biographies, 2,000 Entries,
4 Million Words, 900 Contributors,
5,000 Cross-references

《好評発売中》

(ご注文番号 MBN:8641262)

丸善背革装特製版 定価 ￥165,000

■著名な執筆陣…… *印はノーベル経済学賞受賞者

K.J.Arrow*	G.Debreu*	J.Heckman	L.W.Mckenzie	J.R.N.Stone*	S.Ross
R.Aumann	R.Easterlin	A.Hirshman	E.Mandel	P.Sweezy	P.Samuelson*
G.S.Becker	M.Friedman*	L.Kantorovich*	T.Negishi	J.Tinbergen*	H.Scarf
F.Blau	F.H.Hahn	D.Laidler	G.J.Stigler*	J.Tobin*	A.K. Sen
J.Buchanan*	J.C.Harsanyi	W.Leontief*	J.Stiglitz	J.Niehans	H.A.Simon*

本書の概要

英国・日本共同企画。15年の歳月をかけて完成。

企画参加者—世界の著名経済学者100名。

12名のノーベル賞受賞経済学者を含む権威ある執筆陣。

二階堂副包、宇沢弘文、置塩信雄氏等の日本人研究者が執筆者として参加。

歴史、哲学、数学、統計学など、関連領域を含め900名におよぶ執筆陣。

2,000項目の新規書き下ろし論文。

700名の経済学者の経歴と業績(文献解題)を収録。

長期の使用に耐え得る背革装製本。

(Macmillan/Maruzen, JPN)

発売元



本社・日本橋店：(〒103) 東京都中央区日本橋2-3-10 ☎(03)272-7211 振替東京7-5番

支店・営業所—東京(お茶の水・丸の内・内幸町・浜松町・アークヒルズ・錦糸町・北千住・土浦・ららぽーと船橋)・
八王子・所沢・大宮・新潟・松本／札幌・旭川・仙台・弘前・盛岡・郡山・筑波・水戸・横浜・名古屋・静岡・岐阜・
三重・金沢・富山・福井・京都・滋賀・大阪・神戸・姫路・岡山・松山・広島・山口・福岡・長崎・鹿児島・沖縄
／ニューヨーク・ロンドン・シンガポール

1988年10月 通巻第258号 洋書輸入協会 編集者 柴田 三夫

☎ 103 東京都中央区日本橋1丁目21番4号 千代田会館5階20号室 ☎271-6901 FAX.271-6920

☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田1-10-2 第一山中ビル ☎371-5329